

NPO法人さやま保育サポートの会だより第41号

NPO法人さやま保育サポートの会

〒350-1304 狭山市狭山台3-8-12

TEL & FAX 04-2957-0451

http://www.geocities.jp/yotubanoouchi2006/

- *よつばのおうち:一時保育・狭山市家庭保育室・障害児生活サポート
- *子育てプレイス奥富:子育てひろば(狭山市の委託事業)
- *保育サポート研究所:保育感情労働研究会・保育研修会等

さやま保育サポートの会の活動も6年目を無事終わり、いよいよ7年目を迎えます。よつばのおうちでの駆け込み寺的保育サポートも、利用者の増減が激しく、運営は厳しいものがあります。しかし駆け込んでくる方たちの家庭状況やお子さんの状況を見ると、この駆け込み寺保育室の存在価値を改めて痛感しています。子育てプレイス奥富も年々利用者が増え続けて、毎日、実になごやかです。そして3番目に出来たサポート研究所もよちよち歩きながらそれなりに活動を始めています。保育界は新保育システムで大揺れに揺れています。子ども手当ても児童手当に。こうした激変の時代を、出来るだけホットに温かいたまり場づくりを心がけていきたいと思ひます。

事務局

<運営委員会>

12月26日・1月24日・2月28日
18:30~於プレイス
内容:代表挨拶・会員状況報告
よつばのおうちより
・預り状況
・保育内容や子どもの育ち等
・来月の予定や課題について
プレイス奥富より
・今月の利用状況
・来月の予定や課題について
保育サポート研究所より
活動状況等

<会員の状況>

正会員 29名・賛助会員 13名

3・18社会教育課他主催
“いのちをありがとう!”
に当会が協力しました。
○松永知恵美写真展&
講演会と座談会
「子どもの笑顔に励まされて
たがいま子育て奮闘中!」
コーディネーター:諏訪きぬ
(当会代表理事)
○子育てをみんなで支える
活動パネル展
子育てプレイス奥富

平成24年度理事会・総会
5月26日(土) PM4:30~
場所:よつばのおうち

<保育実績>

よつばのおうち

年度	総延人数	時間数	月極保育	一時保育	早夜間	病後児
22	2,353	17,065	148名15,251	323名1,686	78名54	11名74
23	2,275	16,088	133名14,641	348名1,218	55名56	27名173

23年春に3保育園の開園・増員130名があり、その影響で前半子どもたちは少なかったのですが、終わってみれば上記のような実績。変動の大きい1年間でした。お陰さまでスタッフもその間にすっかり鍛えられ、子どもたちと共に育つことができました。24年度は順調な滑り出し

大きくなって卒業、元気でね!

1月から3月にかけて出入りが多く、この春、9名のお友だちが保育園や幼稚園に進みます。30日には、“大きくなったお祝い会”と“お別れ会”を兼ねて見ごろな白木蓮の花の下、「かまど焚き」で赤飯・トン汁・ポテトサラダツリーなどを作り、ささやかながら愉しく食事をを行いました。元気で大きくなりますよう祈っています。時には顔を見せてください

<月極保育状況>

3月	4月
0歳児7名	1名
1歳児6名	6名
2歳児6名	4名
以上児1名	3名
計 20名	計14名

(内家庭保育児9名 8名)

子どもたちの姿は
ホームページで見てね!

<ご協力・ご支援ありがとうございます!!>

<よつばのおうち>

竹本登志子様 お手玉・紙各種
若山紀美子様 紙
森下セツ子様 寒もち
岡村 和子様 お菓子
田中 祥子様 ひなまつりおぼれ
小原貴美栄様 姫だるま人形
横田 武雄様 くだもの
宮崎 雅代様 絵本他
塩田 公子様 千代紙他

<プレイス奥富>

中井 千乃様 クッション
清水 律子様 CDカセット
諏訪 きぬ様 絵本・玩具
浪岡 満子様 本・お茶

さやま子育てネットワーク

5月発足の見通しができました。
子育て支援団体のネットが



お別れ会光景

秋草学園短大
キッズクラブクラブ公演
1月14日(土)10:30~
楽しい会をありがとうございました。

保育サポート研究所

研究所の事業は、研修事業と研究活動からなっています。

1. **研修事業:** 狭山市からの委託事業「パパママお助け隊養成コース」、日本保育サービス等からの保育者研修は、好評のうちに終えることが出来ました。すでに来年度もパパママお助け隊養成コースと保育者研修の依頼が来ています。マンネリにならないように、スタッフ一同心を引き締めて、新年度事業に取り組みたいと思います。

2. 研究活動: 第12回保育の感情労働研究会開催

3月10日(土)18-21時 愛知県立大学サテライトキャンパスで、研究会を開催しました。内容は1. 保育者養成に見る感情労働についての討議と2. こども未来財団研究費助成「報告書」をめぐって、質的調査班、量的調査班からそれぞれ報告をうけて、議論をおこないました。

1) 保育者養成に見る感情労働について

「元気で明るい笑顔の保育者像」に関連して、上月智晴会員から実習評価表に見る笑顔記述分析に加えて、E市の公私立保育士を対象にした「笑顔調査」の報告があり、話しが盛り上がりました。そして翌日の第23回日本発達心理学会ラウンドテーブルにおいても、この笑顔に焦点を当てて「保育者養成において笑顔がどう扱われているか」、参会者から意見を引き出そうということを確認して、テーマを次の報告書に移しました。

2) 「報告書」保護者支援戦略をめぐって

7月にこども未来財団から研究費助成の通知を受けて、研究チームを発動させ、2月に研究結果を報告書にまとめ上げる、それは至難の業です。それが出来上がったのですから、研究スタッフと研究会会員のパワーはすごいものです。神谷哲司研究代表の最後のダッシュぶりは涙ぐましいものがありました。質的研究をめぐっては、SCAT分析の方法について質疑が展開されました。今後この方法をどう深めていくか、5月の日本保育学会へのポスター報告(筆頭:高橋真由美)を準

子育てプレイス奥富

平成23年12月から平成24年3月の利用実績は下記の通りです。
2月、3月と月を追うごとに利用者数が増えて嬉しい悲鳴です。

平成23年12月実績

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
18	245	294	539	29.94

平成24年1月実績

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
19	248	304	552	29.05

平成24年2月実績

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
21	358	449	807	38.43

平成24年3月実績

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
22	330	448	778	35.36

三寒四温、温かいかと思えば震えあがるような寒い日もありますが、陽ざしはもう春。木々の蕾もふつくとふくらみを増し、奥富の田畑を流れる空気も暖かです。開所を待ちかねたように、お母さんと子どもたちが駆け込んでくるプレイス。梅・桃・桜の花だよりと共に、2年、3年とプレイス通いをした子どもたちもいよいよ巣立ちのときを迎えます。中にはお母さんのおなかの中からプレイス通いをしたお子さんもいます。先日、はさみの練習も兼ねて、卒園紙版画製作に取り組みました。お子さんがなれない手つきで懸命に切った紙片をお母さんが組み合わせ合わせた版画です。作品名は「さんぼ」「新種の昆



